

2006年6月8日

三菱マテリアル株式会社
住友大阪セメント株式会社

三菱マテリアルと住友大阪セメントが石灰石鉱山で共同事業

三菱マテリアル株式会社(社長:井手明彦、本社:東京都千代田区)と住友大阪セメント株式会社(社長:小田切康幸、本社:東京都千代田区)は、福岡県北九州市内で隣接して操業している石灰石鉱山に関し、このたび、住友大阪セメント鉱区内で未着手となっている鉱区の一部を、共同で開発することに合意しました。これにより、両社は石灰石資源の更なる有効利用を図ることが可能となります。

なお、本共同事業に伴ない実施する工事の工期は2006年度からの5年間、工事費用は総額約135億円を予定しています。また、本共同事業の期間は対象となる石灰石資源を採掘し終わる時まで(100年程度と想定)としております。

1. 工事の概要

三菱マテリアルと住友大阪セメントが北九州市で隣接して操業する石灰石鉱山(東谷鉱山と小倉鉱山)のうち、住友大阪セメントが所有する鉱区で現在未着手となっている区域のうち一定の範囲(以下 新採掘区域)における採掘を可能とする工事を実施します。

具体的には、三菱マテリアルは既存採掘区域に、住友大阪セメントは新採掘区域にそれぞれ立坑および破碎送鉱設備を新設し、それらを三菱マテリアルの坑内設備にベルトコンベアで連結させます。

2. 新採掘区域の操業体制

新採掘区域の採掘作業は、住友大阪セメントと小倉鉱山を採掘中の同社子会社である小倉興業株式会社(代表取締役:廣沢雅治、本社:福岡県北九州市小倉南区)が行います。また、坑内設備の運転は、三菱マテリアルが同社の坑内設備と併せて行います。

3. 本共同事業による両社のメリット

三菱マテリアルは、自社の既存鉱区の石灰石採掘に加え、新採掘区域からも供給を受けることにより、自社九州工場向けの石灰石を長期にわたって安定的に確保することができます。

一方、住友大阪セメントは、従来から行ってきた小倉興業との石灰石販売事業を継続するとともに、三菱マテリアルへ破碎輸送業務を委託をすることで、三菱マテリアル九州工場(荏田港)から自社工場(赤穂、高知)向けのセメント原料用石灰石の供給が可能となります。

また、東谷鉱山と小倉鉱山の隣接部分に各々の単独採掘では取り残される石灰石資源(約3億トン)の採掘が可能となります。

4. 今後の予定

新採掘区域は2006年度より当該区域の環境アセスメントを行い、自然環境と緑化による景観修復に十分配慮するとともに地元の理解を得た上で工事に着手し、2011年度からの採掘開始を予定しています。

三菱マテリアルの既存採掘区域の工事は、これと並行して2006年度から工期5年で実施します。

《両鉱山の現況》

三菱マテリアル・東谷鉱山 : 同社九州工場の南西に位置し、自社セメント工場向け原料、その他石灰石製品用として年間約1000万トンの石灰石を採掘

住友大阪セメント・小倉鉱山: 東谷鉱山の北側に位置し、近隣セメント工場向け原料、コンクリート骨材用等として年間約90万トンの石灰石を採掘

以上

